

問

- ◎情報基盤整備アンケートは必要と思うが指名競争入札は適正に行われたのか
- ◎Jアラート警報システム当初設計無し
- ◎シルバー人材センターの現状について



太田 侑孝 議員

質問 23年12月に前回の情報基盤整備のアンケート調査が行われました。結果は、必要としない41・5%、必要と思う27・4%、わからない27・4%でした。通信が日進月歩する中で、前回のアンケートの変動を検証して取り組むのが筋であり、住民の合意をどう得て事業に着手したのかを伺います。

町長 議員説明会の折、町民の皆様への説明についてのお願いをし、12月からの町政懇談会で事業概要を説明し、大方の町民の皆様の理解を得たと思います。

質問 総務省の補助金要綱には、住民が通信をどの程度望んでいるのか調査し、サービス内容や利用料金等も住民のニーズを引き出して対応しなさいとあります。調査しておりますか。

企画課長 調査しておりません。アンケートは設定の仕方によって不確実性が出ることも承知しています。

質問 総務省への申請書には必ずこのアンケート調査が必要ですか。

企画課長 21年の基本設計時に実施しています。

質問 工事請負者と指名競争入札について伺います。調査設計の中国プロードバンドS、施工する京セラコミュニケーションS、施設を運営する東海プロードバンドSの三社は、資本系列、経営役員の人事関係ともに親子関連会社です。社会通念から又、設計・施工分離の原則からして不適当ではありませんか。

町長 入札に必要な実施設計書を作成し、審査委員会を行って最終的に二社による入札となりました。問題が特別あるとは思っていませんが、今の時代に合った形の対応は検討の必要があると思います。

質問 Jアラートが当初設計に入っていないのは何故ですか。

企画課長 工期限内に接続するのは難しいので初期設計には入れていません。新告知端末機と今の同報無線は当面混在することになります。

質問 当町には61歳〜75歳の方が1890余人おります。当町のこの年齢層への生きがい



議員への情報通信事業説明会（H25年12月）

の創造についてどう考えているか又、シルバー人材センターへの補助金が止まっています。何故ですか。行政手続条例上問題ですが。

町長 生きがいづくりは、元気なお年寄りが増え、医療費や介護給付費の削減にもなり、地域社会の活性化や明るい町づくりになります。さらに深化するように取り組む必要があると考えております。

副町長 今までの要綱で対応して、少ないとの話はいただいています。決算や利用状況をみて補助額を上げる判断には至っていません。



答

- アンケートは設定の仕方によって不確実性がでる入札実施仕様書、審査委員会を行って適切に入札
- Jアラートは3月末の工期限迄に接続不可なので
- シルバー人材センターの活動には期待しています



根岸 英一 議員

問

◎高齢者世帯、病弱的な独居世帯へ
安否確認を兼ねた声かけ訪問の実施について
◎買い物に不便をきたしている、
高齢者世帯への生活用品の配送について

質問 高齢化率は44・3%で一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加し、認知症や病弱な方も増えている。徳山区においては、昨年11月から今年4月までの6ヶ月間に3件の孤独死が発生している。高齢者のみの世帯、病弱的な独居世帯への安否確認を兼ねた声かけ訪問の実施について伺う。

町長 現在地域包括センターで把握し、定期的な訪問を実施している高齢者のみ又は病弱的な独居高齢者世帯は243世帯あり、昨年度の訪問件数は延べ2412件で、本年度は4月から8月までの5ヶ月間で1031件の訪問を実施している。また、緊急通報装置を一人暮らし等高齢者107世帯へ設置し、急病、事故等の緊急時対応を図っている。今後民生委員を中心とした見守りや、高齢者見守りネットワーク体制の充実を図っていく。

質問 平成19年9月まで実施された郵便局施策「高齢者の在宅福祉支援ひまわりサービス」の中で、独居世帯高齢者だけの世帯140世帯へ、郵便配達時に声かけを実施し、病弱的な24世帯には毎日訪問声かけを実施した経緯がある。特別な世帯への毎日の訪問・声かけが必要だと考えるが町の考えを伺う。

福祉課長 職員が毎日声かけに回るといふことは難しいが、新聞店、ガス会社、中部電力等各家庭を訪問する機会が多い事業所等へお願いし、高齢者等見守りネットワーク推進事業の一層の推進を図っていく。配食サービス業者、ママ宅にもお願いしていく。また、本年度、人がある程度の期間動かなくなれば通報が起きるセンサー型システムを試験的に導入したいと考えている。

質問 病弱等の特別な独居世帯には、行政指導により、隣保班の活用はできないか伺う。

福祉課長 現在、隣保班の見守りサービス等は考えていないが、福祉課・地域包括支援センターで、病弱な世帯、高齢者独居で見守りが必要な数値は把握している。これらの世帯については、今まで以上に訪問回数等の増を検討していきたい。

質問 移動手段が無く買い物等に不便をきたしている高齢者世帯への生活用品の配送等について、一部商店では配送サービスをしているが、範囲が限られ山の手や遠方までは対応ができていない。ママ宅も百世帯程度の配食サービスがあるが、買



高齢者等の見守り体制の充実を

答

- 高齢者見守りネットワーク体制の充実と一層の推進を図っていく
- 外出支援事業おでかけ号、介護保険サービス生活援助の買い物や宅配サービス、ママ宅の利用を